

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぶるーべりー川西		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 15日		～ 2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2024年 11月 15日		～ 2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い運動スペースがあり多様に運動内容を設けられる	スペースがあるので行う事を複数取り組めるため、本人にとっての得手不得手を設定しやすく運動の行いやすさを作る	複数の事を一纏めにし、皆が同じ方向を見れるような活動内容を考えていく
2	小児鍼を行い、身体面・精神面・健康面の改善・向上を図る	専門家監修のもと、職員でも行える形を増やしている	行う意味なり意義を理解していき家庭でも取り組めるように、相互理解を図っていく
3	送迎は原則事業所が行う形にしている	園や家に限らず、祖父母・親戚宅など保護者の負担が軽減できるように対応している	有事の際にも対応できるように送迎車に余裕を持たせている

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団療育への比重が大きくなり偏りといえる	集団の必要性の高さから提供に偏りが生まれおり、繰り返し行ったことで習慣化してしまった 子供たちの反応や楽しさの作りやすさから、走りがちであった	個別支援は勿論の事、集団で行う中でも個人に目を向け支援を意識していく 療育内容も個別・集団とバランスを意識していく
2	運動スペースが広く、スタッフの目や対応が後手に回る	複数行う事を作ることで子供の意識が分散し、それに合わせてスタッフの意識も分散してしまう	児童対応ではなく範囲対応と視点を増やす 気付きに対して職員間で発信していく頻度・意識を上げていき、対応力・認識、状況把握の幅を持たせる
3	施設規模とスタッフ配置があっっておらず活動場所の分散が難しい	施設規模は拡大したが、職員を増員してはいないため手薄になる状況が生まれる	カメラも設置しているが、単純に職員の増員・充足を図る